

# ☆学習過程のキホン(外国語における学習過程)

研究仮説①

## 一、バックワードデザインで見通しをもたせるべし(単元全体の見通し)

子ども達が単元全体を見通して活動できるようにバックワードデザイン(単元終末の活動を最初に押さえ、見通しをもって単元に取り組むこと)を取り入れる。

※「聞く」「話す」から始め、十分に慣れ親しんだ後「読む」「書く」(高学年)の流れになるように心がける。

Ex.) 4年 Unit 4 What time is it?

L1 時刻や日課の言い方を知る。

L2 時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。

L3 自分の好きな時間について尋ねたり答えたりする言い方を知る。

L4 自分の好きな時間について伝え合う。

どんな表現を指導するか押さえる。

A: I like 3:00.

B: Why?

A: It's "snack time". I like cakes.

How about you?

B: I like 7:00.

A: Why?

B: It's "dinner time". I like sushi.

この表現を、単元最後に児童が言えるようにレッスンプランを練る。

Point 1

単元全体計画を提示する。

Point 2

授業の流れを提示する。

## 一、型のある授業を作るべし(7時間の流れの見通し)

1 Introduction and Small Talk (導入とスモールトーク)【5~10分】

※既習事項の定着や本時に関する内容を行う。

2 Today's Goal【5分】

3 Today's Lesson【25~30分】※以下のパーツを組み合わせて構成する。

◆Review (振り返り) 【5~15分】※前時まで学習した単語や表現を復習する。

◆New words (新出単語)【10~15分】※新しい単語や表現を学習する。

⇒Review や New words で、Chants, Point to, Cards Game, Matching Game, Missing Game, などを行い、英語の表現や単語に慣れ親しませる。

◆教科書や教材の内容 【10~20分】※教科書の内容を行う。場合によっては Activity になる。

◆Activity (活動) 【10~20分】※Key sentence (本時で習得する表現)を使った活動を行う。

4 Reflection Sheet【5分】

言語活動 1

### 1 Introduction and Small Talk (導入とスモールトーク) について

Introduction : 挨拶, 調子, 日付, 曜日, 天気を言う。

Small Talk: 行事や長期休暇の思い出など, 児童が興味・関心のある話題について伝え合う。

※2時間に1回程度, 5~10分間程度取り入れる。

- ・3, 4年生…インプット中心。教師が今までに慣れ親しんだ語句や表現を使って児童が興味・関心のある題材についてまとまった話をする。(教師と児童双方向の対話形式を取り入れる)
- ・5年生…指導者と子どものやりとり中心→子ども同士のやりとり
- ・6年生…子ども同士のやりとり

○Small Talk とは: 既習事項を繰り返し使用する機会を保障し, その定着を図るために行うもの。

## 2 Today's Goal について

本時でのゴール（目指す姿）を教師が Shot Skit（寸劇）等で見せ、ゴールを示す。

研究仮説①

## 3 Today's Lesson について

Activity には、言語活動を取り入れるようにする。

言語活動2

研究仮説②

○言語活動のポイント：設定されている活動が、子どもが英語を使って自分の考えや気持ちを伝え合っているものになっているか。（コミュニケーションの目的、場面、状況の設定）

## 4 Reflection Sheet について

1 単元で一枚のシートにする。（児童自身が自分の成長を確認するとともに、教師が児童の変容を確認することが可能）

研究仮説③

### 一、反応を提示するべし

英語の反応の仕方について提示し、対話を続けるための基本的な表現を定着させる（Point3 参照）

<b>I see.</b> (なるほど)	<b>Me too!</b> (私も!)肯定	<b>Really?</b> (本当?)	<b>I don't know.</b> (わかりません)
<b>Why?</b> (なぜ?)	<b>Me neither!</b> (私も!)否定	<b>Anything else?</b> (他に?)	<b>How about you?</b> (あなたはどう?)

### Point3

対話を続けるための基本的な表現の定着を図る。

対話の開始	対話の始めの挨拶 Hello. / How are you? / I'm good. How are you? など
繰り返し	相手の話した内容の中心となる語や文を繰り返して確かめる 相手: I went to Tokyo. 自分: (You went to) Tokyo. など
一言感想	相手の話した内容に対して自分の感想を簡単に述べ、内容を理解していることを伝える That's good. / That's nice. / Really? / That's sounds good.
確かめ	相手の話した内容が聞き取れなかった場合に再度の発話を促す Pardon? / Once more, please. など
さらに質問	相手の話した内容について詳しく知るために、内容に関わる質問をする 相手: I like fruits. 自分: What fruits do you like? など
対話の終了	対話の終わりの挨拶 Nice talking to you. / You, too. など

小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブックより

### 一、We can フォントをダウンロードすべし

Let's try, We can では、HandwritingWeCan Medium, HandwritingWeCan Light のフォントを使用している。これは、ユニバーサルデザインを意識したフォントとなっている。共有フォルダ→教材バンク→外国語活動→We Can フォント（Administrator を開いてダウンロードする。）

### 一、クラスルームイングリッシュを使うべし

英語の指示で授業を行うとスムーズに行うことができる。これをクラスルームイングリッシュという。（資料1参照）